県立矢吹病院地域連携誌

彩雲 SAIUN

【彩雲（さいうん）】とは、縁などが美しく色づいた雲を言います。日光が雲の水滴で回折するために生じるもので、昔からよいことの起こる吉兆の雲とされています。

VOL. 13 【平成27年9月】

〔写真〕「患者作品」
患者様のリハビリの一環として、また療養の糧及び地域に根ざした活動として、当院で製作した作品です。

矢吹病院の基本理念・基本方針

基本理念

仁 愛 ・ 誠 意 ・ 献 身

～思いやりと真心で患者さんに尽くします～

七つの基本方針

精神保健福祉法を遵守し、私たちは

1. 患者さんの人権に配慮し、癒しと回復の場を提供します。
2. 情報の共有と相互の理解のもと、効果的で適切な医療を提供します。
3. 患者さんの社会復帰の促進を図り、家庭や地域での生活を支援します。
4. 公的責務を自覚し、救急や治療困難な患者さんの受け入れに努めます。
5. 積極的に関連機関と連携し、広く地域精神保健活動に取り組みます。
6. 透明かつ適正な運営により、県民の理解と信頼を得られるよう努めます。
7. 明るく働きがいのある職場をつくり、真の「こころの治療」を追求します。

創立60周年

病院長　横山　昇

お陰様を持ちまして、当院はこの11月に創立60周年を迎えます。人間で言えば還暦に当たりますので、思い切って記念事業を大々的に開催することにしました。次頁にPRさせていただきましたので、興味を持たれた方はぜひ足をお運びください。

さて、当院は開設以来ずっとこの矢吹の地に立ち続けてきました。幾度かの増改築を経て少しずつ外観こそ変化しましたが、滝八幡のこの地に変わることなく存在してきました。良し悪しは別として、名称も半世紀以上前から変わっておりません。しかし、ここに集う人々は常に交代を繰り返し、60年間に何百名もの職員が参集しては地道に業績を積み重ねてきました。初代院長の故・伊豫田成先生は、当時が収容中心の時代であったにも関わらず、全国に先駆けて患者さんの開放と社会復帰に力を注がれ、前大塚健正院長先生はそれを継承しつつ、入院患者さんのリハビリテーションの充実と退院患者さんの再入院防止に全力を傾けてこられました。私がその後任として院長職を拝命してからもう13年が経ちますが、両先生と比べれば何も実績を残していないに等しい自分に対し、正に忸怩たる思いの毎日を過ごしています。

創立60周年を機に心機一転、今後は県の精神科医療における真の中核病院となるべく職員一丸となって邁進する所存ですので、今後とも関係諸機関ならびに県民各位のご指導、ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げまして巻頭の言とさせていただきます。

最後にもう一言。この欄では東日本大震災（と原発事故）以降ずっと復興をテーマにしてきましたので今回も少しだけ触れさせてください。ご承知のように、この9月5日に楢葉町の避難指示が解除されましたが、町民の帰還は遅々として進んでいません。やはり4年半の歳月は余りに長すぎたようです。息の長い支援が必要になると思われますので、我々にできることを考えながら末永く見守り続けたいと考えています。

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定病院

福島県立矢吹病院

TOPICS

アウトリーチ講演会

講演される伊藤順一郎先生

当院は今年４月からアウトリーチ事業を開始しました。そこで、アウトリーチに関する知識を深め、地域に根ざした展開ができるよう、関係機関の皆様を対象にアウトリーチの第一人者である「伊藤順一郎」先生をお招きして、５月22日に講演会を開催いたしました。

当日は、矢吹町文化センターに市町村や医療･福祉機関の皆様など120名のご来場をいただきました。

講演会では、伊藤先生による講演のほか、当院でのアウトリーチの取り組み･地域医療連携室の開設についての報告を行いました。

伊藤先生は、現在、千葉県市原市にある「メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ」の所長ですが、長年アウトリーチの実践に携わってきたことから、アウトリーチの基本から課題まで詳しく講義いただくとともに、多数の質問にも丁寧にお答えくださり、参加者からは大変参考になったという意見が多数寄せられました。

アウトリーチとは?

未治療や受療中断中など、自らの意思では受診が困難な精神障がい者や入退院を繰り返す精神障がい者などについて、地域生活を維持できるようにすることを目的に、市町村や関係機関と連携し、一定の期間、医師や看護師、作業療法士など多職種のチームより支援を行うこと。

創立60周年記念式典•講演会のお知らせ

当院は、昭和30年11月１日に精神衛生法に基づき福島県立矢吹精神病院として開設され、今年創立60周年を迎えることになりますが、これを記念し、「創立60周年記念式典･講演会」を開催いたしますので、多数のご来場をお待ちしております。

⑴　日　時　　平成27年10月24日（土）　13:30～16:00
⑵　場　所　　矢吹町文化センター大ホール
⑶　次　第
・記念式典
　基調報告　　矢吹病院長
　「60年のあゆみと矢吹病院のこれから」
・記念講演会
　演　題　　「東日本大震災と心のケア（仮題）」
　講　師　　薬師寺管長　山　田　法（ほう）　胤（いん）　師

第３回矢吹病院まつりのお知らせ

地域に根ざした病院づくりを目的に、今年も第３回矢吹病院まつりを開催いたします。

院内探検ツアーやバザー、町内の団体による出しものなど昨年以上の盛りだくさんの企画で実施しますので、是非ご来場ください。

テーマ　「地域とつむぐ」

[日　時]　平成27年10月25日（日）　10:00～14:30
[場　所]　矢吹病院駐車場（雨天時：矢吹病院内体育館）
[イベント内容]
　あさひ保育園絵画展、矢吹小学校吹奏楽部
　北陵太鼓、よさこいチーム「四季彩舞」
　極真空手門馬道場「演武会」
　こころの健康相談、院内探検ツアー、バザー
　豚汁（先着順）･わたあめ･ポップコーン無料!!　など

イメージキャラクター「こころちゃん」

第２回病院まつり

地域医療連携室

平成27年６月１日より当院に地域医療連携室が開設されました。これまで当院には地域医療連携室がなく、相談窓口が多岐に渡り御迷惑をおかけしてまいりました。これからは地域医療連携室に統一されることで、相談しやすい窓口となりました。

現在、医療、情報の提供・連携を通して、安全な医療と信頼されるサービスの提供を目指し奮闘しています。御陰様で開設以降、地域の皆様、周辺の医療機関、行政機関、学校など多方面から相談を受けております。しかし、希望に添えず御迷惑をおかけしているところもあります。特に児童・思春期外来では３～５か月と長期で受診をお待たせしております。事前に臨床心理士と面接していただくなどの対応を行っておりますが、御理解、御協力いただければと思います。

これからも、患者様や御家族様が安心して医療サービスがご利用できるように、皆様や地域の医療機関、その他の福祉施設、保健所等と病院を結ぶ窓口として努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

アウトリーチ

平成27年４月から、未治療、治療中断、ひきこもり、長期入院者の退院後、重度の精神障害者を対象に、幅広く質の高い支援を提供するアウトリーチを開始しました。いままでの訪問看護室のスタッフを９名に増やし、訪問看護とアウトリーチの両方を行っています。開始当初は月に10件程度でしたが、７月は30件を超えるまでになりました。患者様が地域でより豊かに暮らすことができるように頑張って行きたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

栄養管理だより

from Nutrition Support Service

おいしい病院食レシピ　～ほうれん草のナムル～

ほうれん草はとても栄養価が高い野菜として知られています。βカロテンやビタミンC、鉄分などを特に多く含んでいます。ほうれん草を使った料理といえばお浸しやごま和えが定番ですが、今回は少し変わった和え物を紹介します。

【材料　2人分】

- ・ほうれん草　1/2束
- ・人参　1/8本
- ・ささみ　小１本
- ・酒　小さじ１

A
- ・おろしにんにく　少々
- ・しょうゆ　小さじ2
- ・酢　小さじ１と1/2
- ・ごま油　小さじ１
- ・白すりごま　小さじ１

【作り方】

①ほうれん草はゆでて水気をしぼり、5cm程度の長さに切る
②人参は細切りにし、さっとゆでておく
③ささみに酒をふり、ラップをして電子レンジで加熱（500Wで１分程度）したら、フォーク等で細かくほぐす
④ほうれん草、人参・ささみを合わせて、Aを加えてよく和える

【ポイント】

ほうれん草はゆですぎると食感が悪くなってしまいますので気を付けてください。ささみがないときはツナ缶でもおいしくできます。酸っぱいのが苦手な方は酢の量を減らしてみてください。

【一人分の栄養価】

エネルギー65Kcal、タンパク質7.1g、脂質2.9g、塩分0.4g

ナムルとは韓国の家庭料理の一つで、ゆでた野菜を調味料とごま油で和えたもの全般をいいます。ほうれん草だけでなくもやしなどの他の野菜でも作ってみてください。

医師紹介

（平成27年4月から）

科　別	氏　名	職　名	専門分野
精神科	横山　　昇	病 院 長	精神科一般
	佐藤　浩司	副 院 長	精神科一般
	山田　康人	科 部 長	精神科一般
	金澤　壮一	科　　長	精神科一般、児童思春期、発達障害（成人を含む）
	石川　大道	科　　長	精神科一般、児童思春期、発達障害（成人を含む）
	小林　秀孝	医　　長	精神科一般
	遠藤　裕美	医　　員	精神科一般
内　科	宗像　　修	副 院 長	消化器内科

外来診療のご案内

●外来受付・診療時間

診療科	受付時間		診療時間	
	午前診療分	午後診療分	午前診療分	午後診療分
精神科一般 内　科	8:30～11:00	13:00～15:00	9:00～終了まで	13:00～終了まで
精神科 児童思春期 外来	全て予約制		9:00～11:30 （水曜日・金曜日） （第３土曜日） ※水曜日・金曜日は月各１回の診療	13:00～16:30 （火曜日・木曜日） （水曜日・金曜日、第3土曜日の一部）

●診療日

精神科一般及び内科　～月曜日から金曜日（祝日を除く。）
精神科児童思春期外来　～水曜日・金曜日（月各１回）（県立医大派遣医師）
　火曜日・木曜日（当院常勤医師）
　第３土曜日（応援医師）
　（※休診や診療日変更の場合がありますので、予約の際にご確認をお願いします。）

●予約診療について

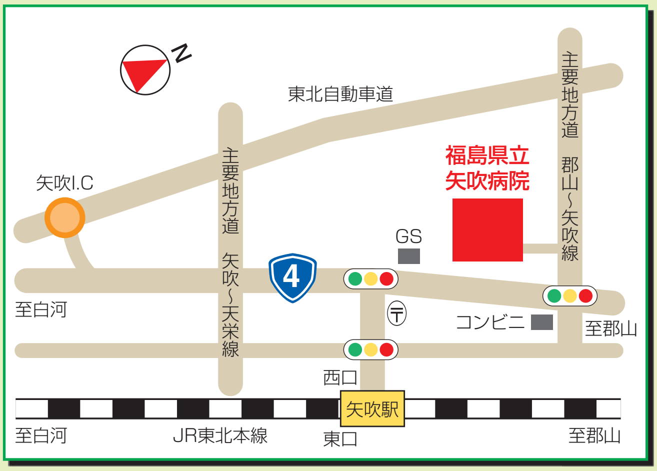
☆　精神科一般　新患　～予約の受付を行っています。
　※新患の診察は、月曜日から金曜日まで行っています。
☆　精神科一般　再診　～予約の受付を行っています。
☆　精神科児童思春期外来　～全て予約が必要です。

〔予約受付時間〕 8:30～12:00　13:00～17:00（月曜日から金曜日）
〔新患予約窓口〕 地域医療連携室（児童思春期外来含む）
電話：0248-44-2051（直通）
9:00～16:30（月曜日から金曜日）

※担当医の診察日については、当院のホームページをご覧ください。
代診・休診についても、ホームページでお知らせしております。

交通のご案内

●JR矢吹駅より徒歩20分。JR矢吹駅（西口）と当院を結ぶ送迎バスも運行しております。



＜送迎バス時刻表＞

迎え	JR矢吹駅 → 矢吹病院
1便	8:10発
2便	8:45発
3便	9:45発

送り	矢吹病院 → JR矢吹駅
1便	9:25発
2便	10:50発
3便	11:20発
4便	14:30発
5便	15:25発

※病院正面玄関前からご乗車できます。

発行　福島県立矢吹病院
〒969-0284　福島県西白河郡矢吹町滝八幡100　TEL0248-42-3111　FAX0248-44-2551
ホームページ　http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25140a